

阪神・淡路大震災から24年

…… 忘れられない記憶とこれからと ……



学校長 永田 浩史

1995年(平成7年)1月17日(火)5時46分に発生した阪神・淡路大震災から、今年で24年の歳月が過ぎようとしています。

今日は各地で震災の被害の大きさを振り返り、**震災からの教訓を語り継ぎ、次の世代に伝えようとする**様々な関連行事が行われます。

この震災を経験した人には、忘れられない記憶があり、何かのきっかけや写真・映像などから当時あったことを鮮明に思い出すことがあります。被災した明石の町の様子を写した写真には、石垣の崩れた明石城、防波堤の崩れた海岸線、1月の寒さの中でポリタンクを抱えて給水所に並んでいる人の列などがあります。笑顔で並んでいる人は一人もいません。皆一様に不安や失望の色で凍りついたような表情が印象に残ります。

先生も給水所に並んだことや長い間お風呂に入れなかったことを今でも鮮明に覚えています。亡くなられた方は6434人、行方不明者3人、避難していた人は30万人を超えていました。そこから少しずつ、本当に少しずつ復興が始まり、新たな街づくりが進んで今の神戸や明石、淡路があるわけです。生徒の皆さんにとって震災の経験はありませんが、写真や映像、文章などの記録から当時のことを知ることができます。**いざという時にどう動くのか、何をして協力していけばいいのか**、今日のご家庭でも話すきっかけとしてください。そして次世代に伝えていきましょう。

▼ 《シェイクアウト訓練》 2018.4.16



▲被災した明石城 巽櫓(たつみやぐら)。

咳の子のなぞなどあそびきりもなや

中村 汀女

インフルエンザ大流行 警報レベルに迫る

1月16日(水)の朝刊には、「51クラス学級閉鎖」という見出しが掲載されていました。明石市内の学校園でも、インフルエンザの流行が警報レベルに迫っています。

錦城中学校でも3連休明けの15日(火)早朝から職員室の電話がひっきりなしになり始め、多くの欠席連絡が入りました。1年生を学年閉鎖、3年2組を学級閉鎖としました。今後も注意が必要です。十分な予防をしていきましょう。

学校医さんより ★★★★★

今年のインフルエンザは熱があまり出ない人も多いので(予防接種を受けた人も熱があがりにくい)、体調不良等があれば無理せずに早めに休養を取り、病院を受診するようにしてください。

また、感染を広げないために、体調不良の人は外出を控えるように気を付けてください。



予防策 (ほけんだより1月号)

- 1 人混みを避ける
- 2 外出するときのマスク
- 3 外出後の手洗い・うがい
- 4 室内の適切な温度・湿度管理
- 5 十分な栄養と休養

今、学校で……

1年生

インフルエンザによる学年閉鎖に伴い、1月17日(木)から2泊3日で予定していたスキー実習を3月に延期しました。これまでの取組で素晴らしい合唱ができてきました。この力は次に生きてくるぞ。

2年生

生徒会執行部による始業式の進行、朝の立ち番など、自分たちが次のリーダーという姿勢が見えてきました。教室の廊下には進路学習によって作成した高校紹介の掲示物がたくさんあります。学んでまとめる力が身につけてきていますね。修学旅行の取組も始まりました。

3年生

1月に入り県外私学入試を皮切りによいよ入試シーズンに突入。これから県内私学の出願、高専の推薦入試、特支学校出願と気の抜けない日々が続いていきます。

また、PC教室では各自の書いた卒業文集をデータ入力する姿もありました。体調を整え、毎日をしっかりと進んでいこう。

とき・あかし 20

震災を考える給食

1月の給食献立表にも掲載されていましたが、1月18日(金)は「震災を考える給食」として、震災後の簡易給食で提供された「チキンソーセージ」や避難所での炊き出しで提供された「豚汁」がメニューとなります。ごはん、味付けのり、高野豆腐の煮物、牛乳とともに「食べられる」ことのありがたさを考えましょう。

